

各位

会社名 日本BS放送株式会社
 代表者名 代表取締役社長兼COO 小野寺 徹
 (コード番号 9414 東証第一部)
 問合せ先 取締役常務執行役員経営戦略局担当 平山 直樹
 (TEL 03 - 3518 - 1900)
 当社の親会社 株式会社ビックカメラ
 代表者名 代表取締役社長 宮嶋 宏幸
 (コード番号 3048 東証第一部)

業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、最近の業績の動向等を踏まえ、2019年10月4日に公表いたしました2020年8月期(2019年9月1日～2020年8月31日)の業績予想数値を修正することといたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 業績予想の修正について

(1) 2020年8月期通期連結業績予想数値の修正(2019年9月1日～2020年8月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	13,000	2,010	2,010	1,380	77.51
今回修正予想(B)	11,400	1,510	1,510	1,020	57.29
増減額(B-A)	△1,600	△500	△500	△360	
増減率(%)	△12.3	△24.8	△24.8	△26.0	
(ご参考) 前期実績 (2019年8月期)	12,601	1,693	1,698	1,158	65.08

2. 修正の理由

営業面では、前期より継続してテレビ通販の縮小や広告媒体多様化による業界環境変化の影響等を大きく受けたことにより、第2四半期累計期間におけるタイム収入、スポット収入は厳しい市場環境の中で苦戦いたしました。第3四半期以降については、新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、日本国内で当初開催が予定されていた東京オリンピック・パラリンピック等各種イベントの延期・中止や、消費者の外出自粛による企業の経済活動へのマイナスが広告出稿の減少につながるものと見込まれ、また世界各国における生産体制や経済活動の停滞による国内企業の足踏みなどにより、タイム収入、スポット収入において影響を受けることが見込まれます。

一方、期初より推進している良質な自社制作コンテンツと厳選したドラマや映画等の人気コンテンツ購入の効果的なミックスを引き続き推進するとともに、実施予定であったスポーツ番組等の制作、イベント実施が新型コロナウイルス感染拡大の影響により中止になったことよりコストの効率的使用が更に推進され、併せて番組宣伝や局認知向上施策としての全国紙・WEB等の様々な媒体を活用した広告出稿を一層効率的かつ戦略的に実施することで、売上高減少の影響を少しでも低減させる方針です。

以上により、2020年8月期の売上高、利益の前回発表予想を下回る見込みとなったことから業績予想を修正することといたしました。

なお、上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な資料を基に作成したものであり、実際の業績は、様々な要因により、予想数値と異なる可能性があります。

以 上